

# 一般質問通告議員

平成27年第3回（3月）定例会

- 1 榑 沢 諭
- 2 堀 川 義 徳
- 3 八 木 清 美
- 4 山 川 香 一
- 5 丸 山 喜 一 郎
- 6 渡 辺 幹 衛
- 7 宮 澤 一 照
- 8 横 尾 祐 子
- 9 植 木 茂
- 10 関 根 正 明



# 一般質問通告要旨

平成27年第3回（3月）定例会

## 1 樗 沢 論

### 1 経済・中小零細企業対策について

1) 中小零細企業こそ地域発展の核であり、そこで働く従業員の収入がふえれば個人消費が拡大し、町が賑わい、市内経済の好循環につながると考える。

新井商工会議所の景況調査によると、198社が回答し、昨年のボーナス支給状況は支給なしの企業は夏51%、冬45%で、企業間格差、所得格差が広がり大きな課題である。市内の中小零細企業が持続的な発展ができる施策が必要と考えるが、景況業況と対応策はどのようなか。

2) 地域産業の活性化による雇用の拡大が必要と考えるが、妙高市の①商工業②農業③観光業の地域産業施策の結果、雇用及び定量的成果（税収）の評価と今後の施策はどのようなか。

### 2 高齢者福祉施策について

1) 2015年度より、「要支援1、2」の高齢者に対する一部サービスは、全国一律の介護保険給付から切り離し、段階的に市区町村の事業へ移す新制度となる。

市に移管後は、サービス低下防止と利用料金の抑制が必要と考えるが、施策の概要と対応策はどのようなか。

2) 高齢者の介護サービスとの組み合わせで安心な住まいを確保してもらうために、介護・医療と連携して高齢者を支援する「サービス付き高齢者向け住宅」、「ケア付き住宅」の整備の推進が必要と考えるがどうか。

また低所得高齢者向けの住宅提供と家賃補助制度も必要と考えるがどうか。

3) 高齢者の介護等を抱える家族は、障がい者や子育ての課題を抱える場合や、年々増加する老々介護の場合もあり、このような複合的な事例には支援が必要だが、対応策はどのようなか。

### 3 国道292号の改修について

1) 一般国道は、広域交流の促進、地域の活性化を図る役割を担う重要な幹線道路である。

市内の国道292号沿線の市街地・農村地域の活性化に結び付ける施策が必要と考えるが、国道292号の需要と重要性をどのように考えているか。

2) 国道292号の長野県内の拡幅工事は完了したが、妙高市内の国道292号は見通しが悪く、道路幅狭隘で危険箇所が多く、県に早期改修を促し、早期完了が必要と考えるが、①長沢原から長沢②楡島から猿橋③小原新田等の斜面崩壊、落石防止工事の改修内容・予定はどのようなか。

- 3) 国道 292 号の姫川原から柳井田は歩道がなく、狭隘、段差による危険箇所があり、早期の歩道設置・改修が必要と考えるが、現状の認識と対応はどのようなか。

## 2 堀川義徳

### 1 妙高市合併 10 年の総括について

妙高市誕生から 10 年が経ち、平成 27 年 4 月からは第 2 次妙高市総合計画もスタートする。人口、財政、旧市町村差など、いろいろな角度から、市長が掲げる「生命地域妙高」としての 10 年間の総括、改めて、その所見とは。

### 2 少子化対策について

国、県、市においても、人口減少、少子化問題は最重要課題となっている。

出生率向上の目玉として、出産 1 人目から期限付きの市内商品券で 100 万円の出産祝い金を支給してはどうかと考える。それにより、地域経済の活性化と少子化の両方に大きな効果があると思われるが、今後策定する「妙高版総合戦略」に入れる考えはどうか。

## 3 八木清美

### 1 「妙高戸隠連山国立公園」の誕生と今後の対応について

3 月 27 日に全国で 32 番目の国立公園として、「妙高戸隠連山国立公園」が誕生する。分離独立された公園の今後の運営手段がますます重要となる。大事なことは、自然環境の保全と多数の人から来園して楽しんでいただくことと同時に、安全安心に楽しんでもらえる環境づくりも重要な課題である。形だけの独立でなく、公園の潜在力を引き出し国内外に発信していくことが重要と考える。

- 1) 県境を越えた関係 6 市町村の連携を強化し、一体感を醸成し周遊観光につなげ、観光振興にさらに弾みをつけることが必要。同時に新幹線駅や並行在来線駅からのスムーズなアクセスも重要と考えるが、対応策はどのようなか。
- 2) 公園内の火打山から焼山にかけてはライチョウ生息域の北限であり、えさとなる高山植物の減少やいもり池のミズバショウの減少、高山植物の盗掘などの問題がある。行政や自然保護団体、地域住民が連携をとり対策に取り組むことが重要と考えるがどうか。
- 3) 国立公園の魅力を伝えることができる人材の育成も必要であると思うが、どのように進めていくのか。
- 4) 公園内を安全安心に楽しんでもらう環境づくりをし、多くの登山客や観光客を迎える「おもてなし」が大切だと考えるが、対応策はどのようなか。

## 2 地方創生につながる生涯学習の展開について

若者から高齢者までを対象に「いつでも」・「どこでも」・「だれでも」自ら学ぶことができる生涯学習活動の充実は、幅広い分野で勉強し、妙高を知り妙高を発信できる人材と地域づくりの理解者を育成できる重要な政策であると提唱してきた。この学習を通して将来的には、地方創生につなげていくことが今後の重要な課題であると考えている。

- 1) 生涯現役・全員参加型社会の実現や地方創生のための生涯学習活動のあり方については、一方的に「教える学ぶ」だけではなく、「教えて学ぶ」とし相互に成長していくことが大切と考える。市民が生涯を通して生きがいを感じながら過ごすための、市としての生涯学習の現状と今後の展開はどうか。
- 2) 市としても担当分野に関する講座や教室を開催し、市民に学習の機会を提供しているが、情報を個々に発信しているため市民にはわかりにくい。市民にもっとわかりやすい学習機会の情報提供が必要と考えるがどうか。
- 3) 生涯学習活動が現状で地域社会に生かされているか、また地域の担い手の育成という大きな視点での現状と課題はどうか。
- 4) 過去にも提案した妙高型市民総合大学制度をどう考えているか。
- 5) 妙高市民中心の生涯学習活動を、将来的には近隣地域あるいは県内外からも受講生を求め、素晴らしい環境の中での学習を通して妙高を知り、妙高に愛着を持っていただくことで、交流人口や定住人口の増加が見込まれ、地方創生にもつながると考えるがどうか。

## 4 山 川 香 一

### 1 妙高戸隠連山国立公園誕生、北陸新幹線開通での観光政策について

北陸新幹線が平成 27 年 3 月 14 日に開業し、関西圏、首都圏との利便性が高まる中、念願の妙高戸隠連山国立公園が誕生することとなった。妙高市も地域の魅力をふやし、今まで以上のおもてなしや自然景観を生かし、県境をまたいだ市町村の連携も強化し、海外を含めた宣伝をすべきと考える。国内外の幅広い誘客を促進する、妙高市観光政策と戦略はどのようか。

### 2 冬山での登山事故、バックカントリースノーボードやスキーの遭難事故防止について

近年雪山での登山やバックカントリースノーボード・スキーでの遭難事故が多発している。自己責任での楽しみの趣味の世界での事故遭難でも社会は放っておかず、警察や消防署、妙高山域遭難対策連絡会の方々も捜索隊に加わり、冬山での過酷な環境下での救助活動にあたられる。天気予報で雪崩注意報などある悪条件の中での救助だけに危険が多い。救助活動にあたられる方々の声として、「救助に向かう人もヘリコプターで捜索する人も命がけなんだということを忘れないでほしい」との切実な発言をされている。

救助捜索では県や自治体で多額の捜索費用が必要となる。市民・県民の大切な税金であり、割り切れない。また多くの捜索費用を使ったうえで万が一にも捜索隊が二次遭難し、人的被害が出たら計り知れない損害となる。人命は取り返しがないことから、強い規制や禁止条例を求める声が多いが、どのように考えているか。

### 3 国の主要施策「地方創生」に関して妙高市の取り組みは

当市も国の施策での地方創生戦略本部を設置した。力点はどのようなか。

### 4 国土交通省選定の重点「道の駅あらい」について

国土交通省が全国の道の駅から選出する、地方創生の核となる重点駅に「道の駅あらい」が選定された。国土交通省は地方での成長戦略の強力なツールと位置付け、重点的に支援する取り組みを実施するとしている。当市も平成27年に計画づくり、平成28年度から地域センターとして機能強化・整備を行うとしている。市民の期待も大きく、今まで以上に行きやすく買いやすいよう利便性を上げてほしい、また拡張を望むといった声もあるが、どのように考えているか。

## 5 丸山喜一郎

### 1 防災体制の強化について

近年、全国的に台風や集中豪雨などによる土砂災害や風水害が発生し、甚大な被害が発生している。このような災害から大切な生命や財産を守るためにも、まずは、自助、共助の取り組みが重要であると考えている。

防災力・減災力の向上を目指す当市では、各自主防災組織に防災士を配置して、地域防災力の向上を図る取り組みを進めているが、いざ、災害時には近隣の自主防災組織が協力して災害対応にあたる必要があると考えるがどうか。

### 2 市民サービスの向上と事務改善について

職員の異動後、前任職員との約束が反故にされることが多く、対応に苦慮している。事務引き継ぎに工夫が必要と考える。また職員の時間的余裕や、職員数に余裕がないのではないかと。

1) 職員の退職時や異動時における事務引き継ぎはどのようにされているのか。また、異動の内示をもっと早くし余裕を持たせ、引き継ぎ時間を多くとれるような配慮が必要と考えるがどうか。

2) 課内部、課外部への作業分担も必要ではないかと。

### 3 ドッグランの設置について

ペットブームが相変わらず盛んである。犬はお年寄りを初め多くの市民を癒してくれている。しかし最近はお年寄りが散歩に行けなくなっているのが実情で、またマナー違反行為があるのも事実である。

「妙高戸隠連山国立公園」誕生により観光客もふえることが見込まれ、中には犬を連れてこられる客もふえることが予想できる。

- 1) 市民向け、観光客向けで、獣医との連携が取れるようなドッグランの設置が必要と考えるがどうか。
- 2) 観光地でのドッグランの設置は、観光の宣伝にもなることから、必要と考えるがどうか。

## 6 渡辺幹衛

### 1 地域農業再生について

- 1) 政府の掲げる「農政改革」への評価はどのようか。
- 2) 地域農業再生にとっての阻害要因は何か。
- 3) 小規模兼業農家の役割をどのように評価しているか。
- 4) 農地集積で問題は解決できると考えるか。
- 5) TPP交渉の現状をどのように評価しているか。

### 2 中小企業・商業振興策について

- 1) 誘致企業の現状と評価はどのようか。
- 2) 妙高市の“売り”はなにか。
- 3) 外からの『呼び込み』頼みの振興策から、地域にある力を活かし、伸ばす産業振興策、経済政策への転換が必要と考えるがどうか。
- 4) 住宅リフォーム助成制度を店舗リフォームまで拡充する考えはあるか。

### 3 内閣府発表の「地域の経済 2014」に関連して、住み続けられる地域づくりについて

- 1) 当地域における「特徴ある歴史文化的資源」をどのように考えているか。
- 2) 老後の安心を支える介護関連事業継続は可能と考えているか。
- 3) 介護事業者へはどのような支援ができるか。

**1 企業誘致の現状と市内企業の経済情勢について**

- 1) 企業誘致の現状と取り組みの現状は。
- 2) 市内企業の縮小や廃業の現状と市としての取り組みは。

**2 除雪における技術向上の取り組みについて**

除雪の技術力向上の取り組みが必要と考えるがどうか。

**1 駅構内、駅周辺の整備・開発について**

北陸新幹線の開業に伴い、市民の「足」となるえちごトキめき鉄道も開業となる。これまでも市民から意見やアイデアをいただいたが、今後も開発が必要だ。

- 1) 駅舎の待合室の改善は。
- 2) 高齢者や障がい者の方などの利用を考え、エレベーターの設置が必要と考えるがどうか。
- 3) 新井駅駐車場、駐輪場を開発する考えはあるか。
- 4) 新井駅周辺の商業施設の新設はどうか。

**2 “女性の力”さらなる活躍のために**

女性が輝く社会の実現のためには知識はもちろん、体験なども必要と考える。女性が自信を持ち、たくましくなることにより、“女性の力”を発揮し、当市の未来も輝けると考える。

実際に体験できるプロジェクトなどに取り組む考えはあるか。

**1 ヘルプカードの普及促進について**

障がいや難病を抱えた人が必要な支援をあらかじめ記しておき、緊急時や災害時などの困った際に提示して、周囲の配慮や手助けをお願いしやすくするヘルプカードの導入を図る考えはあるか。



## 2 認知症対策について

国では戦後のベビーブームに生まれた団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年（平成 37 年）には、高齢者が日本の人口の 5 分の 1 を占める超高齢化社会になると推測されている。

2012 年 6 月、厚生労働省は「今後の認知症施策の方向性について」の中で、身近な地域で気軽に立ち寄ることができ、家族同士の交流を通じて、早期発見・早期治療につながり、症状の進行を遅らせる効果もある認知症カフェを設置する考えはあるか。

10 関根正明

## 1 生物圏保存地域（ユネスコエコパーク）について

1) 手つかずの自然を守ることを原則とする世界遺産と違い、生物圏保存地域（ユネスコエコパーク）は生態系の保全と持続可能な利活用の調和（自然と人間社会の共生）が目的であり、ある意味で妙高市の今後の生き方を示しているような感が私にはあるが、これに対する妙高市の考え方はどのようなか。

2) 現在、ユネスコエコパークの登録件数は、119 カ国 631 件（2014 年 6 月現在）となっており、日本の登録件数は「志賀高原」、「白山」、「大台ヶ原・大峯山」、「屋久島」、「綾」、「只見」及び「南アルプス」の 7 件である。妙高戸隠連山国立公園が分離独立する今が絶好の機会であることから、今後 100 年の体系を考えて、ユネスコエコパークへの登録を目指すべきと考えるが、妙高市の見解はどのようなか。